# 令和3年度 市政アンケート調査 第1回結果報告(概要版)

# 1. 市政アンケート調査の概要

(1)目的 ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進の

ための参考とする。

②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。

(2)調査対象者 福岡市内に居住する満18歳以上の市民656人(就任時)

①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から

承諾を得て依頼

②任期: 令和3年4月16日から令和4年3月31日まで

(3)調査方法 郵送または電子メール

(4)調査主体 福岡市 市長室 広聴課

## 2. 第1回調査の概要

(2)調査対象者数 655人

(3)回答者数 590人

(4)有効回答率 90.1%

(5)調査テーマ ①「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について

②「花と緑のまちづくり」について

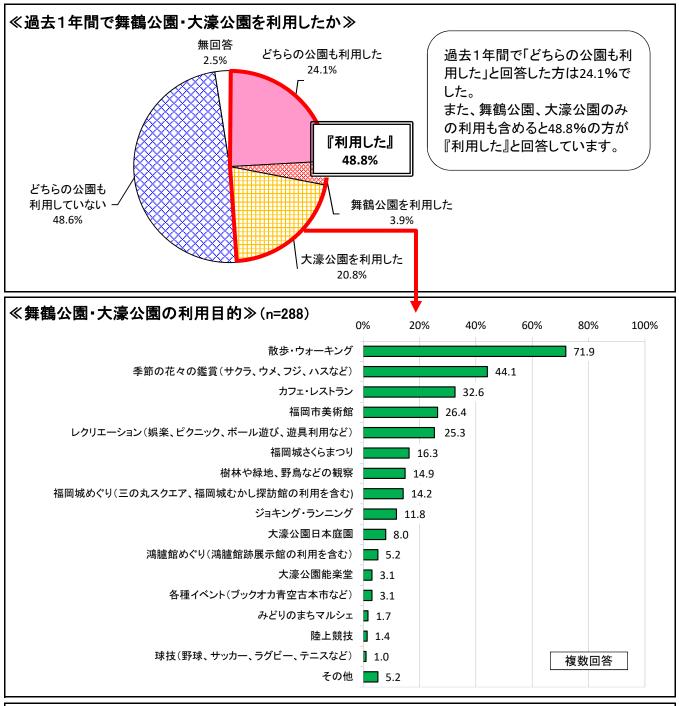
③「環境保全の意識」について

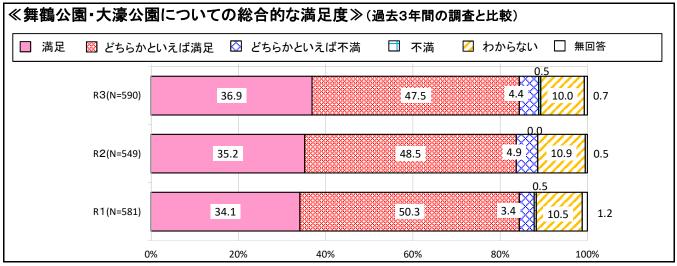
④「救急車の利用」について

## 3. 注意点

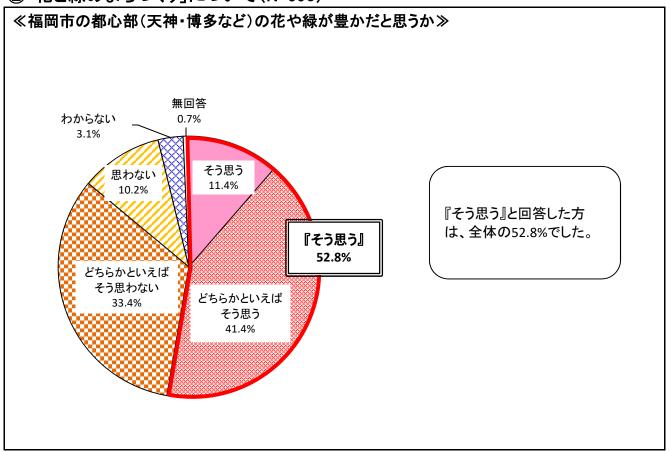
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

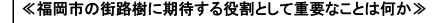
# ①「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について(N=590)

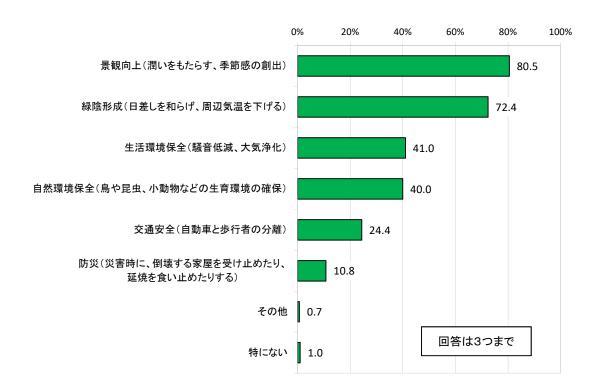




## ②「花と緑のまちづくり」について(N=590)

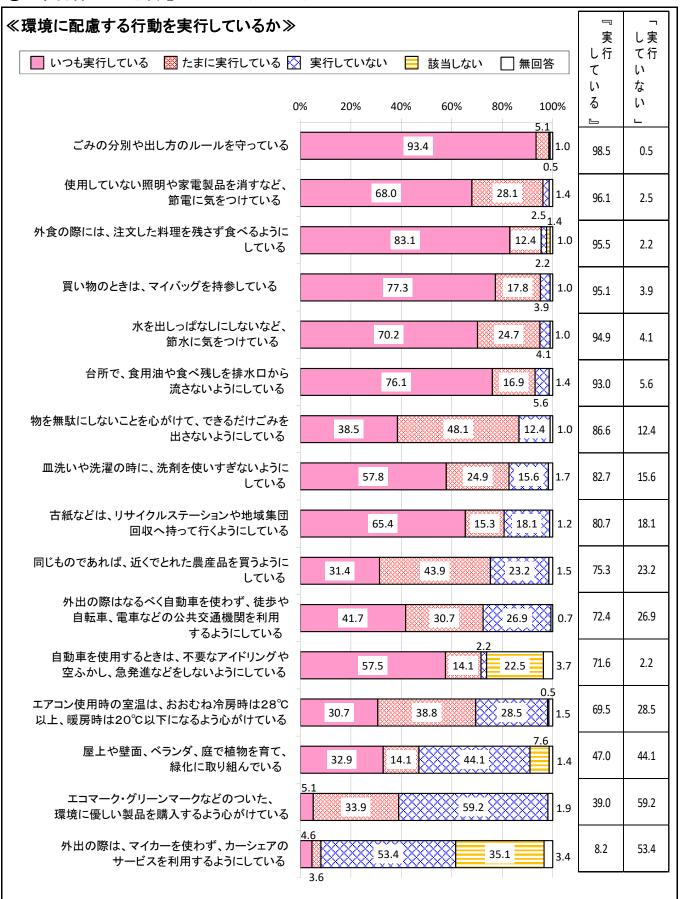






「景観向上」と回答した方が80.5%と最も多く、次いで「緑陰形成」が72.4%という結果になりました。

# ③「環境保全の意識」について(N=590)

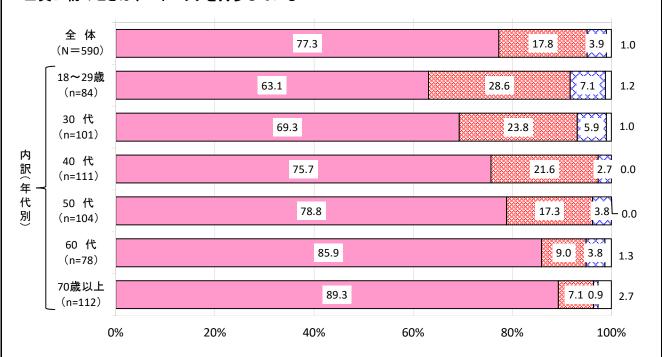


『実行している』と答えた方が9割を超える6項目は、ごみ減量、省エネ、水を大切にするなど、生活のさまざまな場面に及んでおり、環境に配慮する行動が市民の間で定着していることがわかります。

#### ≪環境に配慮する行動を実行しているか≫ (項目別:抜粋)

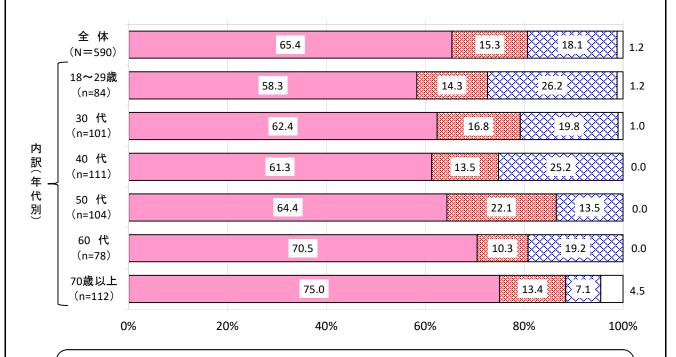
■ いつも実行している 🔯 たまに実行している 🔀 実行していない 🗌 無回答

#### ■買い物のときは、マイバックを持参している



年代別にみると、「いつも実行している」と回答した方の割合は、年代が上がるにつれて高くなっています。

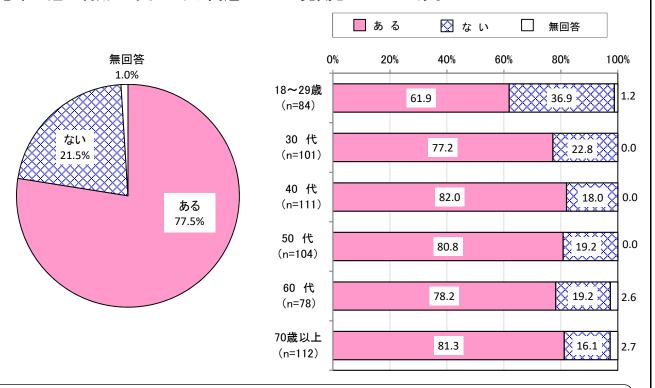
#### ■古紙などは、リサイクルステーションや地域集団回収へ持って行くようにしている



年代別にみると、「いつも実行している」と回答した方の割合は、概ね年代が上がるにつれて高くなっており、いずれの年代においても、5割を超えました。

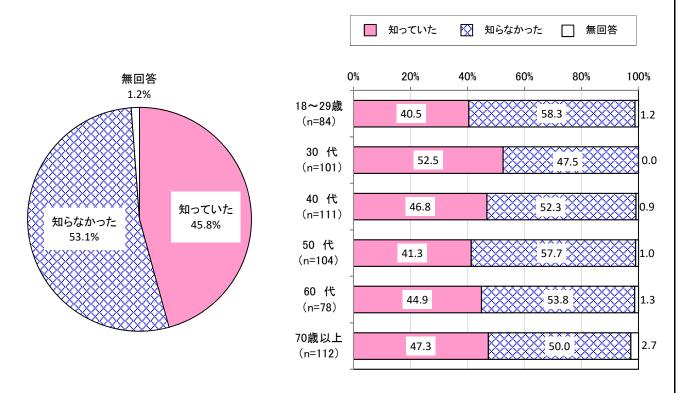
## ④「救急車の利用」について(N=590)

## ≪救急車の適正利用の呼びかけや問題について見聞きしたことがあるか≫

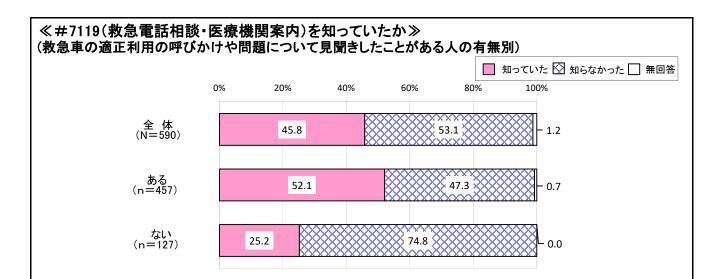


「ある」と回答した方は全体の77.5%となりました。年代別にみると、「ある」と回答した方の割合は、40代で82.0%と最も高く、次いで70歳以上で81.3%という結果になりました。

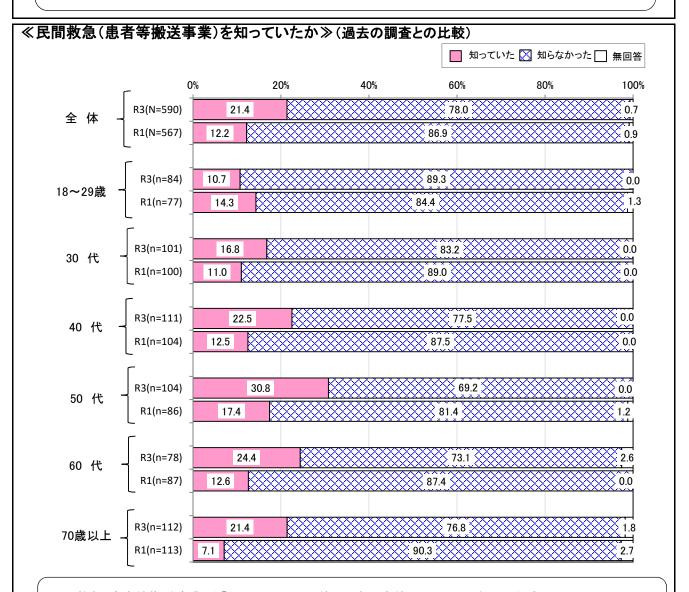
### ≪#7119(救急電話相談・医療機関案内)を知っていたか≫



「知っていた」と回答した方が全体の45.8%となりました。年代別にみると、「知っていた」と回答した方の割合は30代(52.5%)が、他の年代より高くなっています。



#7119を「知っていた」と回答した方は、救急車の適正利用の呼びかけや問題について見聞きしたことがある人の有無別でみると、「ある」と回答した方は52.1%であるのに対し、「ない」と回答した方は25.2%となりました。



民間救急(患者等搬送事業)を「知っていた」と回答した方は全体の21.4%で、令和元年度(12.2%)に比べ、9.2ポイント上昇しています。